

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和4年度 病害虫発生予察情報について（送付）

このことについて、発生予察注意報第2号（早期水稻のいもち病）を發表します。

なお、本情報は病害虫防除所ホームページ（www.jpnpn.ne.jp/kagoshima）にも掲載しています。



病害虫発生予察 注意報第2号

1 農作物名 早期水稻

2 病害虫名 いもち病（穂いもち） *Pyricularia oryzae* Cavara

3 発生地域 早期水稻地帯

4 発生量 多

5 注意報発令の根拠

(1) 6月13～17日に実施したほ場調査において、葉いもちの発生ほ場率は県全体で57.6%（平年：14.0%）と高かった（表1）。

(2) 現在の発生程度は、少～中程度であるが、出穂時期がいもち病菌の感染条件に好適な梅雨時期と重なることから、今後、穂いもちが多発する恐れがある。

(3) 九州南部地方の向こう1か月の気象予報（6月16日鹿児島地方気象台発表）によると、平年と同様に曇りや雨の日が多いと予想されており、いもち病の発生条件に好適となる恐れがある。

6 防除対策及び防除上注意すべき事項

(1) 穂ばらみ期から穂ぞろい期に、粉剤または液剤による防除を行う。

(2) 粒剤による予防防除を行ったほ場でも、上記の防除を徹底する。

表1 早期水稻ほ場におけるいもち病の地域別、発生程度別割合（令和4年6月13～17日調査）

地域	発生ほ場率(%) ¹⁾		発生程度別割合(%)				
	本年	平年	甚	多	中	少	無
南 薩	71.4	23.6	0.0	0.0	7.1	64.3	28.6
大 隅	50.0	12.9	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
熊 毛	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0
県全体 ²⁾	57.6	14.0	0.0	0.0	7.1	50.5	42.4

注1) 発生ほ場率(%)=発生ほ場数/調査ほ場数×100

注2) 県全体の発生ほ場率と発生程度別割合は、南薩地域を含む3地域の栽培面積で加重平均している。